

広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会
(令和5年度「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」マネジメント業務)
議 事 要 旨

〔 令和5年4月6日
イノベーション推進チーム 〕

令和5年度「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」マネジメント業務公募型プロポーザルについて、広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会（以下「産業振興部会」）での審査を踏まえ、次のとおり最優秀提案者を決定した。

1 最優秀提案者

候補者	株式会社エル・ティー・エス
代表者	代表取締役社長 CEO 樺島 弘明
住所	東京都港区元赤坂1丁目3-13 赤坂センタービルディング 14F
契約期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日（予定）
申請提案額	34,100,000円（予定）

【選定理由】

産業振興部会において、予め設定した審査基準に基づき、応募者から提出された提案書、プレゼンテーション、質疑応答の内容について審査を行った。その結果、重点項目とした「1. 基本方針」「3. 実施体制」「4. 具体的な活動」において、

- ①提案内容が具体的に整理されており、実現性も高いと認められること
- ②スタッフ構成から多様性のある対応が期待できること
- ③多岐にわたる団体と既に連携の内諾を取り付けるなど、外部連携の強化が期待できること
- ④利用者の心理的安全性を担保する工夫が提案から読み取れること

などの観点から、当該提案が最も優れていると評価された。

2 会議の概要

開催日時	令和5年3月10日(金) 10:00-12:00
開催場所	オンライン(ZOOM)
議題	令和5年度「イノベーション・ハブ・ひろしまCamps」マネジメント業務の公募型プロポーザル審査

3 応募者（順番は申請順）

	応募者名	所在地	代表者名
A	凸版印刷株式会社 中四国事業部	広島県広島市南区松原町 2-62 広島 JP ビルディング 19 階	白石 泰二郎 (第一営業本部長)
B	株式会社エル・ティー・エス	東京都港区元赤坂 1 丁目 3 番 13 号	樺島 弘明

4 令和5年度「イノベーション・ハブ・ひろしまCamps」マネジメント業務公募型プロポーザル候補者選定状況

(1) 広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会

部長	川野 真澄 (広島県商工労働局 総括官 (イノベーション環境整備))
委員	門永 吉章 (広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長 (イノベーション環境整備)) 亀本 健介 (広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長 (中小・ベンチャー企業支援)) 藤谷 吉秀 (広島県地域政策局中山間地域振興課課長) 大内 貞夫 (公益財団法人ひろしま産業振興機構常務理事)

(2) 審査基準及び結果等

「イノベーション・ハブ・ひろしまCamps」が常設拠点である点に鑑み、そのマネジメントを行う本業務においては、年間を通じて継続的かつ安定的に、利用者にハード・ソフトの両面からイノベーションの創発を促す環境を提供する体制を有することが重要であるという観点から、審査項目の中でもとりわけ「1. 基本方針」「3. 実施体制」「4. 具体的な活動」に重点をおいて審査を行った。各項目の評価については、次のとおり。

審査基準	審査の項目	配点ウエイト	応募者 (※応募者名は3のとおり)		評価及び選定理由
			A	B	
1 基本方針	本業務の目的を理解し、それを実現するために適切な企画提案内容であること。	100	62	86	A社は、目的の理解度に対して疑問が呈された。 B社は、Campsの課題を的確に把握し、対応策を提案していることが評価された。
2 業務内容	本業務の目的を達成するために、適切な業務内容や意欲的なKPIが提案されていること。	50	29	40	A社は、KPIへの意欲やその設定根拠に疑問が呈された。 B社は、野心的なKPIを提示し、その達成に向けた決意も明らかなことが評価された。
3 実施体制	スタッフを確保する方法や支援体制について、適切な提案になっていること。	100	66	82	A社は、学生に現場を任せきりにする恐れがあるなど、現場管理に対する提案が適切でないと言われた。 B社は、多様なスタッフによる幅の広い対応や30を越える団体から協力の内諾を得ている点が評価された。

<p>4 具体的な活動 (2項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用会員の利便性の向上に向け、「認知」「訪問」「共感」「つながり」の観点で創意工夫がされていること。 ・セミナー，ワークショップ等の空間として満足度の高い環境を提供できしており，独自性のある提案であること。 	<p>200</p>	<p>122</p>	<p>144</p>	<p>A社は，イベントが多彩であるとされた。 B社は，訪問者に対する心理的安全性の確保に向けた工夫が評価された。</p>
<p>5 能力 (2項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとして，本業務を適切かつ着実に実行するために十分な，経験や実績，能力や資質を有していること。 ・スタッフはコミュニケーション能力を有し，イベント時等に柔軟な対応が可能な体制が考慮されていること。 	<p>100</p>	<p>66</p>	<p>82</p>	<p>A社は，コミュニティマネージャー及びスタートアップアドバイザー共に相当のスキルと経験を有しているとされた。 B社は，コミュニティマネージャーをはじめ，コミュニケーション能力に優れていることが伺えるプレゼンが評価された。</p>
<p>6 志・熱意</p>	<p>本業務を担うスタッフとして，十分な志や熱意，挑戦意欲を有していること。</p>	<p>50</p>	<p>31</p>	<p>41</p>	<p>A社は，スタートアップ支援については十分な熱意を感じるものの，Campsの目的である出会いの場の創出については，具体的な提案に乏しいとされた。 B社は，“挑戦するコミュニティ”に相応しい志・熱意・挑戦意欲があると評価された。</p>

7 人脈構築力	Camps 内外のコミュニティで積極的に交流を図り、多様な人脈を構築することができるスタッフを配置できていること。	50	32	39	A社は、プレゼンによる説明内容が薄いとされた。 B社は、アウトリーチの活動が期待できると評価された。
8 妥当性	本事業の目的を実現する可能性及び、継続性が高い企画提案内容であること。	50	28	39	A社は、KPI設定の根拠が不明瞭であるとされた。 B社は、持続可能な活動内容が評価された。
9 経済性	業務の経費の内訳が明確で、妥当な価格であること。	50	29	33	A社は、標準的な積算であるとされた。 B社は、コストパフォーマンスが高いことが評価された。
合 計		750	465	586	

※本結果は、各委員の採点結果（計5名）の合計による。